

県内の少年非行(平成29年9月末)

兵庫県警察本部少年育成課

注: 数値は、平成28年は確定値、平成29年は暫定値である。

1 県内の非行少年等の概況

平成29年9月末、県内で検挙・補導した非行少年(犯罪少年、触法少年及びぐ犯少年の総称)は1,725人で前年同期(2,029人)に比べて304人(15.0パーセント)減少、不良行為少年は24,286人で、前年同期(27,107人)に比べて2,821人(10.4パーセント)減少している。

区分		年別	平成 29 年 9 月 末	平成 28 年 9 月 末	増 減 人 員	減 率 (%)
非 行 少 年	刑 法 犯	犯罪少年	1,059	1,295	-236	-18.2
		触法少年	345	442	-97	-21.9
		計	1,404	1,737	-333	-19.2
	特 別 法 犯	犯罪少年	155	164	-9	-5.5
		触法少年	45	32	13	40.6
		計	200	196	4	2.0
	ぐ犯少年		121	96	25	26.0
合 計		1,725	2,029	-304	-15.0	
不良行為少年		24,286	27,107	-2,821	-10.4	

2 刑法犯少年包括罪種別の状況

区分	年別	平成 29 年 9 月 末		平成 28 年 9 月 末		増 減 人 員	減 率 (%)
		構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)		
刑法犯少年		1,404	100	1,737	100	-333	-19.2
凶 悪 犯		11	0.8	30	1.7	-19	-63.3
粗 暴 犯		246	17.5	253	14.6	-7	-2.8
窃 盗 犯		821	58.5	1,003	57.8	-182	-18.1
知 能 犯		28	2.0	14	0.8	14	100.0
風 俗 犯		30	2.1	35	2.0	-5	-14.3
そ の 他		268	19.1	402	23.1	-134	-33.3
うち占離		120	8.5	190	10.9	-70	-36.8

3 刑法犯少年学職別の状況

区分	年別	平成 29 年 9 月 末		平成 28 年 9 月 末		増 減 人 員	減 率 (%)
		構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)		
総 数		1,404	100	1,737	100	-333	-19.2
未 就 学							
小 学 生		162	11.5	182	10.5	-20	-11.0
中 学 生		446	31.8	640	36.8	-194	-30.3
高 校 生		414	29.5	521	30.0	-107	-20.5
その他学生		59	4.2	74	4.3	-15	-20.3
有 職		209	14.9	196	11.3	13	6.6
無 職		114	8.1	124	7.1	-10	-8.1

4 初発型非行の状況

区分	年別	平成 29 年 9 月 末		平成 28 年 9 月 末		増 減 人 員	減 率 (%)
		構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)		
総 数		762	100	964	100	-202	-21.0
万 引 き		378	49.6	451	46.8	-73	-16.2
オ ー ト バ イ 盗		97	12.7	122	12.7	-25	-20.5
自 転 車 盗		167	21.9	201	20.8	-34	-16.9
占有離脱物横領		120	15.8	190	19.7	-70	-36.8
刑法犯少年に占める率 (%)		54.3	-	55.5	-	-1.2	ポイント

少年非行のその他の特徴

全刑法犯検挙・補導人員の15.3パーセント(前年同期比-3.4ポイント)を少年が占めている。

刑法犯少年のうち窃盗犯が最も多く、全体の58.5パーセントを占め、次いで粗暴犯の17.5パーセントとなっている。

不良行為少年では、喫煙(12,880人)と深夜はいかい(9,327人)が全体の91.4パーセントを占めている。